

ソニー株式会社
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
ソニーセミコンダクタ九州株式会社

**ソニーグループの半導体製造事業を統合
～ SCE Fab をソニーセミコンダクタ九州に統合し、半導体製造事業をさらに強化 ～**

ソニー株式会社、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント（以下、SCE）およびソニーセミコンダクタ九州株式会社（同、SCK）は、本年 7 月 1 日付けで、SCE が長崎県諫早市に所有する半導体製造部門である SCE Fab に関する営業を分割し、SCK が承継する会社分割を行うことを決定しました。

SCE Fab は、“プレイステーション 2”に用いられている高性能描画プロセッサ「グラフィックス・シンセサイザ」を始めとする様々な“プレイステーション 2”向け半導体を製造する SCE の半導体製造部門として設立されました。2000 年春に Fab1 を、2001 年春には Fab2 を稼働させ、累計 7,000 万台以上にもおよぶ“プレイステーション 2”の心臓部を担う半導体の量産を支えるとともに、現在では“プレイステーション 2”向け以外にも様々なデジタル AV 機器向け半導体なども生産するソニーグループの重要な半導体生産拠点となっています。

SCE Fab と SCK では、これまでも生産設備の構築や生産オペレーション、人材・技術両面での相互協力など密接な協力関係を築いてきましたが、今回の統合により会社組織として一体となった運営を行うことでこれらを更に強化し、ソニーグループの主力半導体生産を担う会社として、より効率的かつ円滑な半導体供給体制を構築します。

また、SCE と㈱東芝との合併にて設立した半導体製造拠点㈱大分 TS セミコンダクタ（同、OTSS）に関しても、SCE が保有する OTSS 株および製造設備資産を 2004 年 3 月に SCE からソニー㈱に移管しており、今回の SCE Fab の SCK への統合により、ソニー㈱セミコンダクタソリューションズネットワークカンパニー（SSNC）によるソニーグループへの半導体供給体制の集約が完了します。

ソニーグループでは、CCD などのイメージングデバイス、最先端の 90 ナノメートル・プロセス技術や次世代 65 ナノメートル・プロセス技術を用いた CELL やメディアプロセッサ群などの次世代高性能半導体の開発から生産に至るグループの半導体戦略の SSNC への一元化を進めており、この戦略のもとデジタル AV 機器、モバイル機器やコンピュータエンタテインメント機器などグループの各主力商品の更なる高性能・高機能化、高付加価値化および最適な生産計画を実現し、ソニーグループ事業のなお一層の強化を図ってまいります。

【SCE Fab 概要】

総敷地面積	： 約 99,000 m ²
クリーンルーム面積	： 約 11,120 m ² (Fab1)、約 20,000 m ² (Fab2 1F/2F)
ウェーハ処理能力 (8 インチ)	： 約 12,000 枚 (Fab1)、約 9,000 枚 (Fab2 2F※) ※Fab2 1F の次世代生産設備の処理能力は含まず
主な生産品目	： EE+GS、“プレイステーション 2”用 LSI 群、AV 機器用 LSI 群等